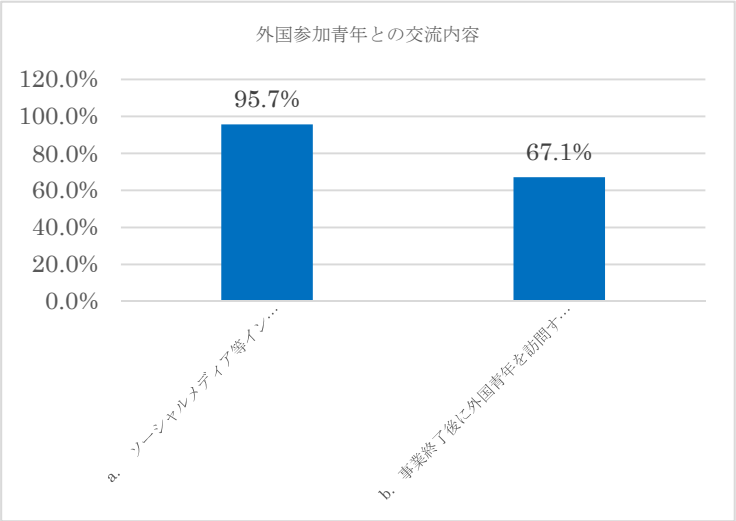


問 13　あなたは、同じ事業に参加した日本参加青年と現時点でも交流が続いていますか。

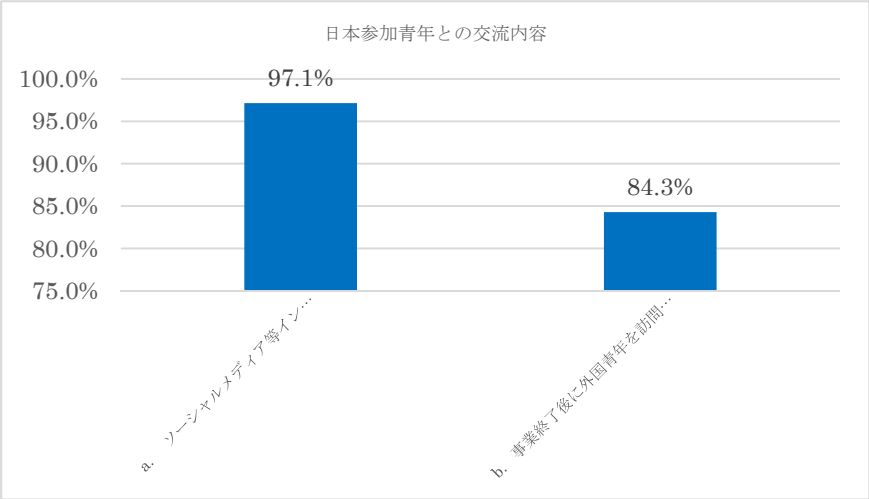
回答者全員（100%）が事業参加後にも日本青年と現時点でも交流が続いている、事業のねらいが達成されていると評価できる。

項目	人数	%
1.　交流が続いている	70（名）	100.0%
2.　交流は続いていない	0（名）	0.0%

問 13-1　交流が続いている（続いていると答えた方は、交流の内容について、以下から選択してください（複数選択可）

a のソーシャルメディアを利用した交流が 97.1%と極めて高いことが特徴であるが、同時に b の直接のコミュニケーションによる数値が 84.3%であり、事業の成果を示している。

項目	人数	%
a.　ソーシャルメディア等インターネット上のやりとりを通じた交流が続いている	68（名）	97.1%
b.　事業終了後に日本青年を訪問する、日本青年の訪問をうけるといった交流が続いている	59（名）	84.3%

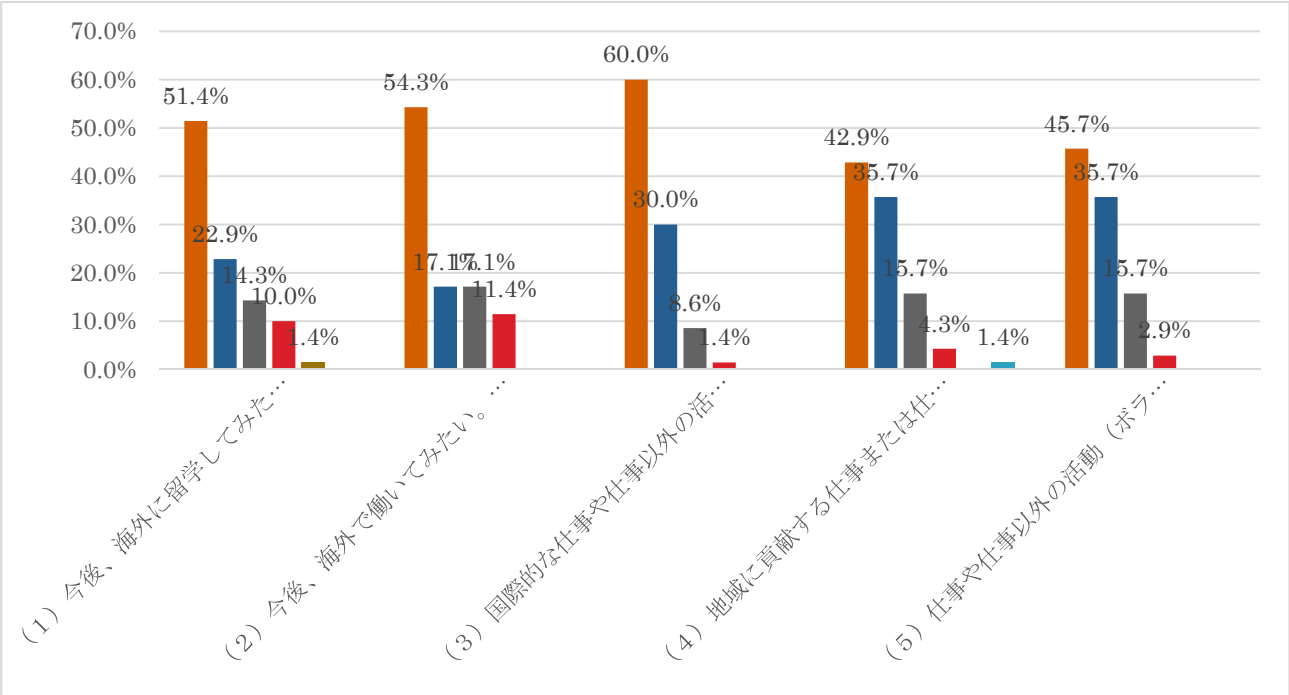


問 14　現時点での自分の気持ちに最も近い選択肢をそれぞれ1つお選びください。

「（3）国際的な仕事や仕事以外の活動（ボランティア等）に関わりたい」の項目では「ややそう思う」以上の割合は 98.6%であり、「非常にそう思う」と「そう思う」を合わせると 90%と高い比率であり、意欲の高さがうかがえる。

「(5)仕事や仕事以外の活動(ボランティア等)において、リーダーシップを発揮したい」の項目でも「ややそう思う」以上の割合は 97.1%であり、本事業の狙いである「リーダーシップの向上」について意識の向上に効果があったことが伺える。
「(4)地域に貢献する仕事または仕事以外の活動(ボランティア等)に関わりたい」の項目でも「ややそう思う」以上は、95.7%の数値を示しており、「地域への貢献」についての意欲が増したことが伺える。
「(1)今後、海外に留学してみたい」の項目で「ややそう思う」以上の割合は 88.6%である。
また、「(2)今後、海外で働いてみたい」の項目で「ややそう思う」以上の割合は 88.6%である。

項目	非常にそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
（１）今後、海外に留学してみたい。（既に留学経験のある方は、留学を再度経験したいかどうかという観点から選んでください）	36(名)	16(名)	10(名)	7(名)	1(名)	0(名)
	51.4%	22.9%	14.3%	10.0%	1.4%	0.0%
（２）今後、海外で働いてみたい。（既に海外勤務経験のある方は、海外勤務を再度経験したいかどうかという観点から答えてくだ	38(名)	12(名)	12(名)	8(名)	0(名)	0(名)
	54.3%	17.1%	17.1%	11.4%	0.0%	0.0%
（３）国際的な仕事や仕事以外の活動（ボランティア等）に関わりたい。	42(名)	21(名)	6(名)	1(名)	0(名)	0(名)
	60.0%	30.0%	8.6%	1.4%	0.0%	0.0%
（４）地域に貢献する仕事または仕事以外の活動（ボランティア等）に関わりたい。	30(名)	25(名)	11(名)	3(名)	0(名)	1(名)
	42.9%	35.7%	15.7%	4.3%	0.0%	1.4%
（５）仕事や仕事以外の活動（ボランティアなど）において、リーダーシップを発揮したい。	32(名)	25(名)	11(名)	2(名)	0(名)	0(名)
	45.7%	35.7%	15.7%	2.9%	0.0%	0.0%



第 4　付録

資料 1　調査票その他の調査関係資料

a.依頼文書（電子メールによる）

件名：平成 27 年度内閣府青年国際交流事業フォローアップ調査について
【協力依頼：2/22（月）迄）】

日本青年国際交流機構
副会長　本田　温子

平成 26 年度グローバルリーダー事業
既参加青年　各　位
(bcc でお送りしています)

会員の皆様におかれましては、ますます御活躍のことと存じます。

さて、下記依頼文書にあります通り、内閣府では、内閣府青年国際交流事業の既参加日本青年を対象に、フォローアップ調査を実施することとなりました。本調査の集計は、（一財)青少年国際交流推進センターが取り扱います。

調査の対象は、「平成 26 年度グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」既参加者」としています。

この調査では、会員の皆様の事業参加による意識・行動の変化とその後の社会における活躍の状況等についての情報を収集することに焦点を置いた、次の 4 項目についての質問が 14 問あります。

Ⅰ．あなたご自身の現在の状況について
Ⅱ．内閣府事業の事後活動に関連した事後活動並びにあなたが自主的に行っている社会活動について
Ⅲ．内閣府青年国際交流事業への参加状況と参加による影響について
Ⅳ．あなたの将来に関して

尚、この調査によって、事業の効果を的確に把握することで、今後の事業
予算に関する検討及び事業の更なる改善と発展、そして事後活動の活性化に
活用されます。

オンラインフォーマット
https://ssl.formman.com/form/pc/C3j7wMgQPM68hkZB/

オンラインフォーマットでの回答を基本としておりますが、諸事情によりインターネットからの入力が難しい方は、こちら http://www.centerye.org/download/swy_questionnaire2016.1.pdf
よりアンケートファイルをダウンロードしてご記載の上、メール（swy-questionnaire@iyeo.or.jp）または FAX（03-3639-2436）へ送信ください。

御自身の回答はもちろん、同期のみなさんにも声をかけて、積極的に御協力ください。
半数以上の回収率が必要とされています。期日までにより多くの方々の御回答をいただくよう御協力お願いします。

本件についての問い合わせ連絡先：
（一財）青少年国際交流推進センター
フォローアップ調査担当　田中佐代子、桑原真哉
swy-questionnaire@iyeo.or.jp　TEL03-3249-0767　FAX03-3639-4236

以下、内閣府からの依頼＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

平成 27 年度内閣府青年国際交流事業既参加青年フォローアップ調査について

各　位

日頃より内閣府青年国際交流事業に御理解、御協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび内閣府は、平成 26 年度グローバルリーダー育成事業の既参加日本青年を対象に、フォローアップ調査を実施することといたしました。
本調査を通じ、既参加青年の皆様の事業参加による意識・行動の変化と現時点での事後活動の状況等についての情報を収集することにより、事業の効果を的確に把握し、今後の予算に関する検討及び事業の更なる改善、そして事後活動の一層の推進に資することとしています。

皆様も御存知のとおり、内閣府青年国際交流事業においては、事業参加はゴールではなく、その後の社会貢献を行うためのスタートと位置づけています。
参加青年のその後の活躍状況について正確な情報を得ることは、事後活動の推進と並んで内閣府の重要な責務と考えていますので、積極的に御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜回答をいただくにあたって＞
〇集計作業は、一般財団法人青少年国際交流推進センターで行います。
〇アンケートへの回答は、平成 28 年 2 月 22 日（月）午前 10 時までにお願いいたします。
〇なお、ご本人確認のために氏名等をお伺いしております。
返信していただいたアンケート内容は、集計結果が公表されることはありますが、氏名入りの回答が外部に公表されることはありません。

↑以上メール文案

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官補佐（国際企画担当）
金原　明彦
----------以上

b.調査票ーオンラインフォーマット　鏡文

内閣府青年国際交流事業に関するアンケート調査＜平成26年度グローバルユースリーダー育成事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」参加者向け＞

【ご回答にあたって】

1．本調査は、平成26年グローバルユースリーダー育成事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」の日本参加者を対象に、主に事業の効果及び、事業参加後1年間の事後活動の内容と変化を把握するために行うものです。

2．回答いただいた内容は、個々の回答内容がそのまま公表されることはありません。本調査の結果は、統計的数値として取りまとめます。

フォームの記入画面へ行く

記入をやめる